

2025 年度 指導医申請のご案内（新規）

I. 乳腺指導医新規申請資格

- ・ 乳腺専門医であり、2019 年以前（2019 年含む）に乳腺専門医を取得していること
※乳腺専門医を少なくとも一回更新した乳腺専門医であることが必要
- ・ 会費を完納していること
- ・ 乳腺外科専門医・研修カリキュラムの基幹・連携施設（以下、基幹・連携施設）もしくは本学会が認定した認定・関連施設に常勤で勤務し、乳腺診療に従事していること
- ・ 専攻医（専門医を目指している者）を指導した実績があること
- ・ 2019 年 8 月～2024 年 7 月末までの乳癌経験症例が 100 例以上あること
※修練施設ごとに病院長の証明(捺印)が必要
- ・ 乳腺疾患に関する研究業績が 16 点以上、研修実績が 30 点以上あること

専門医更新と同年に申請する際は、指導医新規申請書類のみをご提出ください。申請料も指導医新規申請料のみをお振込みください。

II. 申請期間

2024 年 5 月 1 日～2024 年 7 月 31 日 23:59

申請書類はデータにてご提出していただくこととなりました。郵送での申請を希望される場合は別途手数料 5,000 円が必要となります。詳細は V.提出方法にてご確認ください。締め切り直前の問い合わせには対応できないことがありますので、日数に余裕をもって申請してください。尚、申請期間を過ぎての申請は受理できません。

III. 申請書類

作成にあたっての注意事項

- ・ **虚偽の記載が判明した場合には、申請者及び施設の認定を遡って停止となる可能性があります**
あります
- ・ 手術療法、画像診断、放射線治療、薬物療法から 1 つ選択してください
- ・ 旧書式による申請書類は受付けません、最新版をダウンロードしてください
- ・ 記載欄が不足している場合は、適宜追加してください
- ・ 必ず手元に申請書類を保管してください
事務局より、申請書類について問い合わせをする可能性があります
- ・ Excel のまま提出するものと PDF にして提出するものがあります（Ⅷ参照）
提出書類は審査員が見やすいように提出してください（不鮮明なもの不可）
いずれもⅧチェックリストにあるファイル名にして提出してください

① 乳腺指導医(新規)申請書

【認定医の同時取得が可能です】※認定医の取得は任意です
希望の有無を「認定医の同時取得」欄にて選択してください
希望され、指導医に合格した場合は指導認定料に追加して認定医認定料1万円が必要となります

新認定医制度について

これまでの制度では、認定医は乳腺専門医を目指す医師の為のその基盤としての資格でした。ゆえに乳腺専門医の資格を有する先生は、認定医の更新をしない限り、その資格を失効している状況でした。2024年度より、乳腺診療の質を日本乳癌学会が保証する認定制度として、新しく生まれ変わり、指導医専門医取得・更新の際に希望されれば、認定医が取得できることとなりました。

認定医認定期間：2025年4月～2030年3月（指導医認定期間と異なります。指導医認定期間：2025年1月～2029年12月）

② 指導実績

③ 研究業績一覧

- ・ 2020年1月～2024年7月末までの乳腺疾患に関する研究業績が16点以上あること
- ・ 査読のある全国規模の学会（日本乳癌学会地方会は可）、学術誌、医学誌であること（病院誌・一般商業誌*は不可）
*一般向けの商業誌。「乳癌の臨床」「癌と化学療法」など、市販されている査読を有する医学誌は可。
- ・ 以下のような証拠となる業績を添付し、自身の名前が確認できるように赤丸で囲むこと

*業績として認められるかは最終的に専門医制度委員会・認定委員会での判断となる。過去事例として、依頼原稿記事は内容により不可となる場合もあり

【論文】

- ・ 論文の題名・所属・発表者名・要旨の記載されているページ
（但し、論文要旨の項目がない場合は、論文全ページ）
掲載予定の論文は掲載証明書と論文原稿の提出があれば認める

【学会発表】

- ・ 発表学会名、発表年月日が記載された抄録集の表紙か会期がわかるページと抄録
過去の乳癌学会学術総会の抄録については、会員専用ページにて閲覧可能

研究業績点数表

| | 欧文 論文 | 和文 論文 | 国際学会 日本乳癌学会 | 国内学会 | 日本乳癌学会地方会 乳腺関連研究会 |
|----|----------|----------|----------------|------|----------------------|
| 筆頭 | 10 | 6 | 4 | 3 | 2 |
| 共同 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 |

④ 研修実績一覧

- ・ 2020年1月～2024年7月末までの乳腺に関する学会・研究会・セミナーに参加した研修実績が30点以上あること
- ・ 上記の内、日本乳癌学会学術総会に参加した研修実績が3回以上あること（但し今年度は移行期の為、参加回数0～2でも可）
- ・ 参加した証明として、参加証・修了証を添付すること

日本外科学会等の学会参加情報の照会ページ PDF の添付でも可

※ 参加証・修了証には氏名を記載し、研修実績一覧と同様の番号を振ること

研修実績点数表

| 日本乳癌学会 | | | | その他学会 | | |
|--------|-------------|-----|------------------|----------|----------|----------------------|
| 学術総会 | 専門医 セミナー | 地方会 | 教育 セミナー *1 | 国際 学会 | 国内 学会 | 乳腺関連研究会 乳腺関連講習会*2 |
| 6 | 4 | 2 | 1 or 2 | 4 | 3 | 2 |

*1 受講証記載の点数による。但し、記載のないものは1点とする。

*2 マネジメント講習会、超音波講習会、JOHBOC セミナーなど適切なプログラムが組み込まれていること。

その他学会については、原則的に全国規模の学会・研究会とする。

それ以外のものは、専門医制度委員会・認定委員会の判断による。

⑤ 基幹・連携／認定・関連施設常勤勤務証明書

⑥ 診療経験目録

- ・ 2019年8月～2024年7月末までの乳癌の確定診断のついた症例のみ記載すること（良性・疑いは不可）
- ・ 手術療法（術者・助手含む）、画像診断、放射線治療、薬物療法、何れかの領域における100例以上の診療経験を記載
 - ※ 主領域で50例以上ある場合は他領域との混合も可
- ・ 画像診断、放射線治療、薬物療法を主領域として選択した場合は、症例記録30例と診療経験目録70例を提出すること
 - ※ 混合で申請する場合も、副領域症例の症例記録が必要となる
その数は【副領域総数の内30%（小数点以下切り上げ）】

各診療領域の条件については、以下の通り定める

【手術療法】

- ・ NCD検索システムより抽出した症例数を、修練した施設ごとに記載する

<症例の提出方法が変更になりました>

NCDのシステムにログインをしていただき、システムより症例を提出いただくこととなりました

別途マニュアル「NCD-Person マニュアル」（HPに掲載）に従い、申請前に以下のURLより「提出する」を実施してください。NCDから事務局へデータが提供されます

<https://system.ncd.or.jp/member/~jbcs/>

※NCD検索リストの提出は不要です

※NCDから提供される手術症例数は、2019年8月～2023年12月までの4年5ヶ月分となり、2024年分は提供されません。2024年分の症例は診療経験目録に症例数を記載し、病院長による証明があれば、カウント可能です

※NCDから提供された症例数データが100例を満たさない場合は事務局より問い合わせをいたします。申請前は事務局では症例数の回答はいたしませんので、ご了承ください。ご自身の症例数は従来通りNCD検索システムでご確認ください。

【画像診断】

- ・ 乳癌症例記録(画像診断)には、初診年月・診断手技・病理組織診断確認日・病理組織診断名・診療内容の記載が必須
- ・ 診療経験目録には、初診年月・診断手技・病理組織診断名を必ず記載する
- ・ 経験症例には、組織診断による癌の診断確定を得ていることが必要（細胞診による診断は不可）
*申請者自らが針生検などにより病理組織診断が行わなくても、最終的に”組織診断による乳癌の確定診断を得ていること”のフィードバックを受け、自らの画像診断の精度管理を行っていれば、この要件をクリアしていると判断します
- ・ 再発・転移に対する診断は認めない

【放射線治療】

- ・ 乳癌症例記録(放射線治療)には、初診年月、原発、進行・転移再発、病理組織診断名、術式、照射部位、照射期間、照射線量、診療内容の記載が必須
- ・ 診療経験目録には、施行期間、原発、進行・転移再発、病理組織診断名、術式、照射部位、照射線量を記載すること

【薬物療法】

- ・ 乳癌症例記録（薬物療法）には、初診年月・病理組織診断名・HR・HER2・治療ライン（術前/術後/進行・転移再発）・薬剤名・投与期間・診療内容の記載は必須。この症例記録では、転移再発症例での治療経験を 30 例中 15 例以上提出すること
※薬物療法が副領域の場合には、転移再発症例の提出はなくてもよい
- ・ 診療経験目録には、施行年月・治療ライン（術前/術後/進行・転移再発）・病理組織診断名・HR・HER2・レジメ・薬剤名を記載すること。転移再発症例での治療経験を含めて提出すること。（転移再発症例は症例記録、診療目録合わせて 100 例中 30 例以上あることが望ましい）
- ・ 周術期薬物療法の症例は、殺細胞性抗癌薬に限る。（ホルモン療法・分子標的治療のみ及びその併用は不可）また、初回投与開始症例のみに限る
- ・ 転移再発症例は、初回投与に限らず提出可能であるが、同一患者で提出可能なのは 1 レジメまでとする。（同一患者において治療の継続やレジメの変更で提出することは不可）レジメは転移再発乳癌に保険適用となっている治療法であれば、その種類を問わず申請可能である。（殺細胞抗癌薬のみに限定しない）臨床試験や治験症例であれば保険適用外例も可とする

《申請書類における患者個人情報の保護について》

- ・申請書類入力にあたっては、個人が特定出来ないよう施設の個人情報取り扱いに関する規定を順守すること
- ・施設監査を行った際にスムーズに診療録や手術記録とつぎ合わせ確認が出来るようにしておくこと

IV.申請手数料について

申請手数料：10,000 円

【郵便局からのお振込】

口座記号番号：00170-5-404708

加入者名：日本乳癌学会専門医制度委員会

【銀行、ネットバンキングからのお振込】

銀行 支店：ゆうちょ銀行 019 (ゼロイチキュウ) 支店

預金種：当座預金

口座番号：0404708

名義人名：日本乳癌学会専門医制度委員会

申請前に必ず申請手数料のご入金をお願いいたします

※振込の際、可能であれば通信欄に「指導医新規申請料」とご記載ください

なお、既納の申請手数料は、いかなる理由があっても返却いたしません

V.提出方法

zip ファイルにして、以下のサーバーにアップロードしてください

<https://jbcs.xdrive.jp/index.php/s/P9Bzy6WHNJRjJM8>

詳しい申請方法については、別途「申請手順」をご確認下さい

Excel のまま提出するものと PDF にするものがありますので、VIII. チェックリストにてご確認ください

申請書類と申請料の入金確認が完了次第、受領メールを送信いたします

申請時期により、確認に 2 週間程度かかる場合もありますので、ご了承ください

<データでの提出が難しい場合>

データでの提出がどうしても難しい場合は、郵送での提出を受付けます

郵送で提出する場合は別途 5,000 円の手数料が必要となりますので、申請料 15,000 円（申請料 10,000 円+手数料 5,000 円）をご入金いただき、配達記録が残る簡易書留、レターパック等で事務局宛にお送りください（2024 年 7 月 31 日必着）

郵送にて提出される場合は一部を郵送ではなく、全ての申請書類を郵送でお送りください
〒103-0027

東京都中央区日本橋 3-8-16 ぶよおビル 3F

日本乳癌学会 宛 まで

VI.書類審査結果について

審査結果は申請書に記載していただいたメールアドレスに連絡いたします

合格者には認定料 40,000 円（認定医を同時取得する場合は 50,000 円）の納付が確認でき次第、認定証を発送いたします

VII.問合せ先

日本乳癌学会事務局 office@jbcs.gr.jp

不明な点がある方は事務局へお気軽にお問合せください。正確を期すために、電話でのお問い合わせはお控えください

VIII.チェックリスト

| | 申請書No | 申請書名 | 提出形式 | ファイル名 | 備考 |
|--------------------------|-------|------------------------|---------------|------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | ① | 乳腺指導医 (新規)申請書 | Excel のまま | sds_1-4_ 申請者名 | 申請書フォームの必要箇所にご入力いただきそのまま提出してください。⑤以降はPDFで提出ですが、削除せずそのまま提出してください。 |
| <input type="checkbox"/> | ② | 指導実績 | | | |
| <input type="checkbox"/> | ③-1 | 研究業績一覧(論文) | | | |
| <input type="checkbox"/> | ③-2 | 研究業績一覧(発表) | | | |
| <input type="checkbox"/> | ④ | 研修実績一覧 | | | |
| <input type="checkbox"/> | ⑤ | 基幹・連携施設/認定・関連施設常勤勤務証明書 | PDF(公印をもらった後) | sds_5_申請者名 | |
| <input type="checkbox"/> | ⑥-1 | 診療経験目録(症例記録) | PDF(公印をもらった後) | sds_6_申請者名 | 手術療法の場合、⑥-2の提出は不要です 複数ある場合は続けてひとつのPDFにおまとめください。 |
| <input type="checkbox"/> | ⑥-2 | 診療経験目録 | | | |
| <input type="checkbox"/> | ⑦ | 論文 | PDF | sds_7_申請者名 | ③の添付資料として 複数ある場合、論文で一つのPDFにおまとめください |
| <input type="checkbox"/> | ⑧ | 学会発表等の抄録 | PDF | sds_8_申請者名 | ③の添付資料として 複数ある場合、発表で一つのPDFにおまとめください |
| <input type="checkbox"/> | ⑨ | 参加証・修了証 | PDF | sds_9_申請者名 | ④の添付資料として 複数ある場合、一つのPDFにおまとめください ※日本外科学会等の学会参加情報の照会ページPDFの添付でも可 |

※乳腺専門医認定証の提出は不要です